

MBT NEWS LETTER

第77号
'21/2/10

＜MBTコンソーシアム会員へ報告＞

MBTコンソーシアムと連携する奈良医大の動きについて 情報を共有します

- ・180社を超える会員数に膨らんだMBTコンソーシアムは、奈良医大と連携し、医学シーズや医学的成果を基に新産業創生を目指して活動を進めています。
- ・その意味で、奈良医大の現在の活動状況や今後の動きに関する情報を、MBTコンソーシアム会員にお伝えすることも重要と考えて時々にお知らせして参ります。

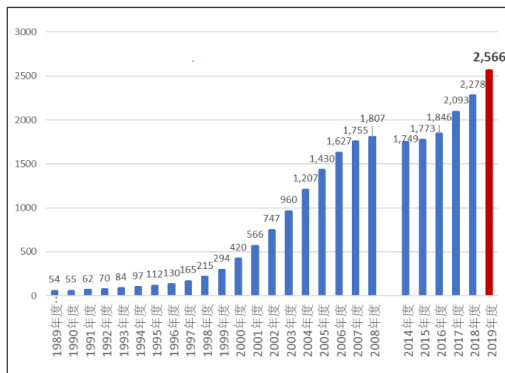
**2021年1月4日仕事始め式で、
“奈良医大発ベンチャー企業立ち上げの勧め”を発信**



奈良県立医科大学理事長・学長
MBTコンソーシアム理事長
細井 裕司

- ・細井裕司奈良医大理事長・学長は、教職員に向けた仕事始め式年頭の挨拶の中で、
 - ①図の様に大学発ベンチャー企業数は文部科学省の方針に沿って2000年頃から急増し、いったん横ばいになっていたが、ここ数年また急増の傾向にある。
 - ②奈良医大での研究成果は論文や特許となって残るが、その成果が具体的な形になり社会に役立つものにならないと真の社会貢献とは言えない。
 - ③そのために、一人でも多くの医療者、研究者や学生でも、新しい事業分野を起こそうとする起業化精神（アントレプレナーシップ）をもってチャレンジして欲しい。
 - ④MBTコンソーシアム事務局も起業相談に参加し、起業を支援する出資の検討をお願いしたい。
 と発信されました。

図 2 大学発ベンチャーの企業数の年別推移



大学発ベンチャー企業の状況

- ・大学別では、東京大学268社、京都大学191社、大阪大学141社がベスト3であるが、単科医科大学では、福島医大が3社、京都府医大と奈良医大が1社ずつ、が現状です。
- ・奈良医大発の1社は、2018年10月に起業のMBTリンク(株)（社長：梅田智広 MBT研究所研究教授）であり、2社目以降の起業が待望されています。

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、 (公立大学法人) 奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山

TEL : 0744-29-8853 (直通) 、 FAX : 0742-90-1070 、 Email: mbt@mbt.or.jp

(参考) 公開されている大学発ベンチャー企業の設立概要

- ・“大学発ベンチャー企業”という言葉の響きで、起業とは難しく面倒なモノ、と考えがちですが、細井理事長の狙いは、まずは大学が保有する知識、技術、ノウハウが活きる新しい視点の事業構想とビジネスモデルをまとめ起業して見よう、という**チャレンジマインド**を期待されているようです。
- ・奈良医大発でも手が届きそうな他大学のベンチャー企業事例を調べてみました。

◆某国立大学発ベンチャー企業事例

- ・組織再生に関わる生命科学技術の開発、特許、知財の管理
・組織再生に関わる生命科学技術に関する技術指導、技術移転
- ・医療に関する出版物、磁気ディスクを使用した電子出版物の企画・制作・出版及び販売
- ・講義録画を利用したe-Learning学習用教材の開発と販売
- ・コンピュータシステムによるデータ解析、情報処理
- ・地域小中学生向けのプログラミング教室
- ・リン酸化たんぱく質の受託解析サービス
- ・サイバーセキュリティ体験サービスの開発
- ・幼児、児童及び青年向けの体験と実践による学びの場の企画、制作、運営、管理

**大学発ベンチャー起業に関してMBTコンソーシアム
会員様からのご意見・ご提案もお待ちします**